

【担当教員】

村田 直樹

【教員室または連絡先】

非常勤講師（連絡先は最初の授業でメールアドレスをお知らせします。）

【授業目的および達成目標】

教職における教養として、学校教育を中心に教育体系及び教育政策の動向について学ぶとともに、これらの法的手当てについて考察することによって教育法規についての知識と理解を深めることを目的とする。

学習・教育目標

D. 現代の学校教育に関する社会的、制度的、又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解している。

【授業キーワード】

公教育制度、教育の機会均等、教育の質の維持向上、教育法規、教育政策、学校教育、教育公務員、地方教育行政組織

【授業内容および授業方法】

講義を中心として行う。教育法規については、必要に応じて小テストにより理解を深める。また、教育政策については、小論文を作成させて学生の教育問題に対する関心を高める。

【授業項目】

1. 公教育の理念と教育行政の構造
2. 日本における公教育制度の変遷
3. 教育政策の課題（1）：教育の機会均等、教育の質保証
4. 教育政策の課題（2）：学校・家庭・地域社会の連携、学校安全への対応等
5. 日本の学校教育に係る政策課題と英米における取組（学校選択、学力テスト、コミュニティスクール等）
6. 教職のための基本法規
 - （1）教育の基本原則と教育基本法
 - （2）学校体系と学校教育法
 - （3）地方教育行政の組織及び運営に関する法律
 - （4）教育職員の特性と教育職員免許法・教育公務員特例法

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、配布資料を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。具体的には以下のとおりとする。

教育政策については、日本の学校教育における政策課題と英米における取組の講義終了後に講義内容及び関連する新聞・雑誌等の記事を参照して小論文を作成してもらおう。また、教育法規については、教育基本法以下の法令に関して理解度をチェックする設問集を各講義の際に配布するので、その解答を各自記入し、答合わせを行う。さらに、15回分の授業終了後に教育政策・法規の講義内容についての理解度をチェックする筆記試験を行うので、そのために必要な学習を求める。

【教科書】

授業の際に講義用プリントと関係法令を配布する。

【参考書】

- 「新訂第5版 やさしい教育法規の読み方」（菱村幸彦・著、教育開発研究所）2015
「改訂版 教育行政と学校経営」（小川正人、勝野正章・編、放送大学教育振興会）2016
「現代の教育改革と教育行政」（小川正人・著、放送大学教育振興会）2010
「改訂版 学校と法」（坂田 仰・編、放送大学教育振興会）2016

【成績の評価方法と評価項目】

小論文（30%）
理解度テスト（40%）
学習態度（30%）

小論文は教育政策に関して指定するテーマの中から選んで作成する。
理解度テストは教育法規の項目を中心に、すべての授業が終了した後に行う。
なお、5時限以上欠席した場合には、原則として単位を認定しない。

【参照ホームページ名】

文部科学省ホームページ

【参照ホームページアドレス】

<http://www.mext.go.jp>